

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【静岡県】

学校名【伊豆の国市立長岡中学校】

1 実践テーマ	I ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	2年生4クラス全員 計139名。
3 展開の形式	(1) 学校における活動  次の5つのうちから選択し○をつけてください【複数選択可】 ① 教科名( 総合的な学習の時間 ) ② 行事名( ) ③ その他( ) (2) 地域における活動 ① イベント名( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	オリンピック(メダリスト)の講演を通して、オリンピックについて学び、スポーツへの興味関心を高める。
5 取組内容	オリンピックの歴史や2020東京大会についての事前学習。 オリンピック(メダリスト)によるリモート講演。  講演を聞いての感想やオリンピックについてわかったことなどの事後学習。
6 主な成果	事前に道徳の授業で「こころゆたかに」の教材を扱った。講師の人柄に前もって触れる機会があったことは、当日、講師と初対面であっても親しみを持って受け入れることができたようだった。部活動やクラブ活動で対外試合が制限されている中、どのように集中力を高めていくのか、生徒からの質問にも対応していただき翌日の生徒たちの日記の中では「自分たちに今できること」「当たり前のことから頑張る」といった感想が多く見られた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	新型コロナウイルス感染拡大により10都府県に非常事態宣言が出されている状況の中、リモートによる講演にしたことで、県をまたぐ移動を避け、感染拡大防止の視点から有効であったと言える。また打ち合わせ等もズームを用いて行うことで接触を避け、相手の映像を見ながら対応できたことから、今後遠方の講師をお願いしての講演等に活用できると思われる。

8 主な課題等	早めに計画を立て、打ち合わせ等が余裕を持って行えるようにしておきたい。また、ズームを用いたことから、リハーサルがたいへん重要であった。
9 来年度以降の実施予定	オリンピックの話を直接聞いたことは大きな経験となった。講演の内容を生徒たちが自分の物として最後の部活動に生かしていくことを願っている。オリンピックが実施されれば、この話を思い出しながら観戦できるように呼びかけていきたい。